

鯨ヶ沢漁業用海岸局

事業目的

試験船，取締船ならびに一般漁船間との指導監督，漁業通信を行うことにより，人命，財産の保全，操業秩序の維持，外国200海里水域内の安全操業と海難防止を図り，漁業経営の安定に資する。

事業内容

1. 実施期間 昭和58年 4 月 1 日～昭和59年 3 月31日
2. 交信海域 日本海全域，北部太平洋海域，青森県沖合全海域
3. 担当者 局長 長谷 繁三
主任 工藤 衛・大友 守
技師 中川 賢三
4. 取扱通信種別
 - (1) 指導監督通信
 - 日本海さけ・ます漁業位置報告通信
 - 試験船及び取締船との通信
 - 漁海況情報収集ならびに速報通信
 - 日韓共同規正水域位置報告通信
 - 外国200海里水域内漁獲報告通信
 - 気象及び航路警報通信
 - 要求通信
 - (2) 遭難，緊急，安全通信
 - (3) 漁 業 通 信
5. 通信方式
 - (1) 無線電話（SSB方式）による送受信
 - (2) 気象，漁海況のファックス受信
 - (3) 遭難自動受信機による無休聴守
 - (4) セルコール送信機による通信

事業実施状況

1. 気象及び航路警報等の随時放送により，海難事故の未然防止と漁海況放送による漁業の生産性を高めた。
2. 200海里漁獲報告通信の確保及び出漁各船の位置報告通信により船舶の安全操業に寄与した。

表1 通信取扱実績

種別 月	指導通信	漁業通信	気 象	事 故	保 安	相手局数	通信時間
4	1,772件	413件	22時30分		5件	1,138件	455時00分
5	2,814	863	23.15		12	2,105	470.10
6	2,437	1,055	22.30		5	1,664	455.00
7	4,134	2,136	23.15		0	3,202	470.10
8	3,789	1,905	23.15	1	2	2,919	470.10
9	3,357	1,754	22.30		2	2,680	455.00
10	2,013	1,065	23.15		0	1,482	470.10
11	2,256	1,176	22.30		1	1,745	455.00
12	1,284	718	23.15		0	950	470.10
1	1,017	346	23.15		9	687	470.10
2	700	122	21.00		0	349	424.40
3	954	151	23.15		0	492	470.10
合 計	26,527	11,704	273.45	1	36	19,413	5535.50
前年度計	31,252	16,846	273.45	2	53	25,154	5535.50
前年度比	84.8%	69.4%	100.0%	50.0%	67.9%	77.1%	100.0%

表2 空中線電力別隻数

種 別	出 力	10 W	50 W 以 上	電信電話併設船	合 計
官 庁	船	3	1	3	7
民 間	船	80	54		134
合 計		83	55	3	141
前 年 度 計		82	57	4	143
前 年 度 比		101.2%	96.4%	75.0%	98.6%

表3 地域別、トン数別隻数

地域 トン数	官 庁	沢 辺 岩 崎	深 浦	鯨ヶ沢	市 浦	下 前	小 泊	三 厩 竜 飛	青 森 今 別	合 計
10 t 以下	1		1	1		24	18	2		47
11 ~ 20		2	10	7	2	13	12	8	2	56
21 ~ 50	3		3	7		5	3	1		22
51 ~ 100	1	1	1	1		2	5		3	14
100 以上	2									2
合 計	7	3	15	16	2	44	38	11	5	141
前年度計	7	3	16	16	2	45	40	9	5	143
前年度比	100%	100%	93.8%	100%	100%	97.7%	95.0%	122.2%	100%	98.6%